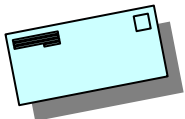


薪の山に 灯る 冬の暖かさ

11月4日(土)に「里山の暮らし～薪づくり」を行いました。薪づくりは、里山の冬支度にかかせない大切な仕事です。今回は2名からイベントの報告をいただきました。



里山の薪作り体験

前野庄作

11月4日(土)に秋晴れの上世屋で薪作りを体験しました。昔は農家で燃料として使った薪も今ではあまり作られず、暖をとるのに使う程度とのこと。

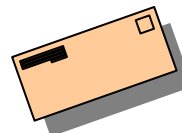
指導をお願いしていた、小川竹男さんの案内で「大四手の碑」のある村山に到着。そこは「ナラ」や「シデ」の木が笹の中に点在する林でした。その中から安全に作業できる「シデ」の木を選び周辺の笹など下草刈りをして伐採しました。方向を定めて倒し、枝は芝木にする為に集めて適当な束にして、「ネジ木」で2ヶ所縛り出来上がりです。



「ネジ木」は細い木を曲げ、繊維を柔らかくして使いました。この様に身近な自然の材料をうまく利用する知恵には感心します。一方丸太は上世屋へ運び、さらに3分割し薪割りです。丸太がうまく割れた時は気分爽快で、まさにストレス解消です。しかし枝分かかれした丸太の場合尾は「カナヤ」(鉄の楔)を「カケヤ」で

打ち込まないと割れず、苦戦しながらやっと割れた時には拍手と歓声が湧き、楽しい一日でした。

自然と共に生きる暮らしの中に、私達が忘れていた自然の豊かさへの感謝の気持を思い出させてくれました。



薪づくりを体験して

京都大学大学院 松島洋介

この日は、薪づくりということで、地元上世屋に在住の小川竹男さんを講師に迎えて、まず集落から少し離れたところにある雑木林まで移動し、木の伐採から始めました。今日はこの林にある木のうち、2本を薪用に伐るとのことでした。薪には、適する木とそうでない木があると小川さんはおっしゃいました。クリや針葉樹、ネムノキは薪には適さないみたいです。逆にナラ類やクヌギ、シデなどは適しているそうです。この日は、イヌシデを伐りました。

最初に周囲の下草を刈り、それから伐採を開始しました。一本はチェーンソーで、もう一本はのこぎりをを使って伐りました。始めに受け口をつくり、それから追い口を切って意図した方向に倒すとのことでしたが、のこぎりでの作業は途中で何度も刃が止まりとても大変な作業でした。



やっとの思いで切り倒した木は、まず枝を切りとり、それから運搬のために幹を 1m 強ぐらいの長さに切り分けました。枝の方は、使いやすい長さに切った後、ネジキを使って束ねました(ネジキは通称名だそうで、実際には林にあったガマズミやツノハシバミを使いました)。これはおどろと云って、乾燥したあと芝木として利用するそうです。

切り分けた木はぶーたんに持ち帰り、そこで今度は割り木づくりを行いました。まず切り分けた木を薪割りが出来る長さにさらに切り、それから薪割りを行いました。

初めての薪割り、とっても難しかったです…自分としては、斧(ヨキというらしい)を使ってテンポよく割っていく姿を想定していたのですが…斧の振り上げが弱いと力不足で割れず、上まで振り上げるとバランスを崩して上手く芯にあたりませんでした。それでも次第にコツが分かってきました。変に力まずにしっかり芯に当てれば、意外にあっさり割れました。中には節がついて割れにくいものもあって、そういう丸太に対しては、カナヤというくさびのようなものを打



ち込み、それをカケヤという木槌でたたくという方法で割りました。そうして出来た割り木は 1

年ぐらい乾燥させた後、薪として利用するそうです。

薪づくり、思ったよりもずっと大変な作業でしたが、作業を通して見えてくることも色々ありました。まず、薪づくりを通して木のことをより深く知ることが出来たような気がします。どの木が薪として使えるのか、あるいは割り易い、割りにくいなど、使うことを前提にして木と関わることで単に林を眺める時とはまた違ったものが見えた気がします。さらには木を伐った林がどうなるのかなど、薪を使い続けることで見えてくることもあるような気がしました。あと、資源利用という点では、自分がどれだけのエネルギーを使ったかを、身近な林の変化という形で実感として理解できるということは石油やガスといったエネルギーに頼っている今の僕たちに大切なものなのかなと思いました。

P. S.

薪づくりのあとには、蓮根掘りもしました。足が蓮田から抜けなくなったり、腕も肩ぐらいまで深く突っ込まないといい蓮根がとれないなど、こちらも予想以上に大変な作業でしたが、宝探しみたいで大きな蓮根を見つけたときの感動はひとしおでした。採った蓮根はおいしく頂きました♪

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

12月2日(土)に2006年最後のイベント「雪囲い&忘年会」を行いました。

今回は、飯尾醸造のHP (<http://iio-jozo.co.jp>)内のブログの記事からその様子をお知らせします。

♪—————♪♪

一年は早いものです。今年も『NPO里山ネットワーク世屋』の拠点地、また米作りのシーズンに蔵人が休息の場にも使う ぶーたんの雪囲いを行いました。

昨年は囲う前にドカ雪が降ったため、雪すかしからの作業で大変でした。今年こそは、その二の舞にならぬよう早めに行います。雪囲いに使う材料や、やり方



もいろいろとあるようですが、ここでは今年も手っ取り早く角材とコンパネを使います。とは

言っても、昨年よりもバージョンアップされた作りになっています。

出来上がりました！！



・・・なんか・・・変？どこ探しても、こんな雪囲いはない様な気がしますが・・・まあ～格好はどうでもいいのです！ 雪さえしのげたら！

なんとか雪囲いも終了し、いよいよ忘年会の始まりです。

正直 雪囲いよりも こっちがメインっていう参加者が、私を含めて何人かいたはず！



出ました！毎年恒例のブリしゃぶ。今年は富山県の氷見産の寒ブリ。昆布のだしを取った土鍋の中に、脂ノリノリのブリが入られます。そしてユラユラと。弊社の富士ゆずぼん酢につけてパクッ！

みんな食うわ、食うわ。ホンマ皆さんよく食べられます！まだ食うか！って感じです。

しゃぶしゃぶも十分に堪能したら、焼きブリで。これもまた格別です。

最後は定番の雑炊でしめ、皆さん御満悦。

午後1時過ぎから始まった忘年会も あっという間に時間が過ぎ、帰り支度をして ぶーたんの外に出てみると真っ暗で、みぞれが降っていました。

私どもの棚田がある世屋、松尾地区も いよいよ寒い寒い冬の到来です。

(米作り担当 伊藤)

♪♪—————♪
この日は、来年の予定などに関する会議も行われました。会議では、今後の方針として下記の2点が意見としてできました。(秋山さんのメールより抜粋)

要約すると

(1) 宿泊研修が出来るような状態までは、ぶーたんの改修を進める

具体的にはトイレ、風呂、台所など

(2) 事業収入の向上

具体的には、宿泊イベント、ぶーたん利用料、ツアー&人材育成(講習)、絵葉書作成販売

<事務局より>

12/2 のぶーたん雪囲い作業の後に忘年会を実施いたしました。通常の会計とは別とさせていただきますので、ご参加された方は以下ご確認ください。

収入		36,000 円
内訳	会費	3000 円×12 人
支出		36,000 円
内訳	ブリ	27,000 円
	食材	6,641 円
	酒等	2,359 円

♪♪♪ お知らせ ♪♪♪

#1月19（金）～20日（土）に「バイ投げ」を行います。

2007年最初のイベントは、バイ投げです。今年も藤原さんを講師に迎え、世屋地区周辺の伝統的な兎狩り「バイ投げ」3年目の挑戦をします。今まで2回のバイ投げの成績は「収穫なし」でした。次は3度目の正直となるか、2度あることは・・・のことわざ通りになるか。野ウサギへの挑戦に多くの方の協力・挑戦をお待ちしています！

●タイムスケジュール：

●集合場所：

●服装：

●参加費：

●問い合わせ：

●申し込み先：

★締め切り★